

特集 令和2年度 当初予算

世界に誇れる「まち」の 実現に向けて



令和2年度の当初予算が決まりました。今年度の予算は、「200万人広島都市圏構想」の下、「人口減少・少子高齢化に打ち克ち、世界に誇れる「まち」の実現に向けた取り組みを深化させるための予算」としました。予算のポイントや主な事業を紹介します。
国財政課(☎504-2075、☎504-2099)

一般会計は2.0%の減 4年ぶりのマイナス予算に

一般会計の総額は、借入金(市債)の返済費が減ったことなどにより、前年度当初予算より137億円、2.0%の減となり、4年ぶりに減少しました。

また、特別会計は、公債管理特別会計の減などにより、対前年度0.1%の減、企業会計は、下水道事業会計の増により、対前年度0.1%の増となりました。

全ての会計を合わせると、対前年度1.1%の減となり、2年ぶりに減少しました。

予算の規模

一般会計	6563億7261万円	対前年度2.0%減↓
特別会計※1	4240億8652万円	同0.1%減↓
企業会計※2	1484億 991万円	同0.1%増↑
全会計	1兆2288億6904万円	同1.1%減↓

※1「特別会計」は、保険料などの特定の収入で特定の事業を行い、一般会計とは別に経理する会計です。市には、国民健康保険や介護保険など19の特別会計があります

※2「企業会計」は、民間企業と同じように、主にサービスの提供で収入を得て、その収入で支出を賄う会計です。市には、水道、下水道、安芸市民病院の3つの企業会計があります

市の予算に関する資料は、市役所財政課または市ホームページ「市政⇒予算の詳細」をご覧くださいだけです

活力にあふれ にぎわいのあるまち

広島のみちづくり
3つの柱
その1

都市機能の充実強化に向けて

広島市の新たなシンボルとなるサッカースタジアムの建設や旧広島市民球場跡地の活用などによる中央公園とその周辺地域の活性化、広島駅南口広場の再整備に取り組みます。

また、広島高速5号線や新交通西風新都線などの交通ネットワークの整備、西広島駅北口地区や西風新都におけるまちづくり、東部地区連続立体交差事業などを進めます。



旧広島市民球場跡地の活用イメージ

中山間地・島しょ部の魅力向上のために

中山間地・島しょ部では、中小企業の人材確保の支援や、似島臨海少年自

ワーク・ライフ バランスのまち

広島のみちづくり
3つの柱
その2

「地域共生社会」の実現に向けて

住 民同士が支え合い、安全・安心に暮らすことができる地域社会の実現を図ることを目的とした地域コミュニティ活性化のビジョンの策定や、企業やその従業員が地域活動に積極的に参加し、地域コミュニティの活性化を促進する制度の構築に取り組みます。

また、自助・共助・公助の適切な組み合わせによる持続可能な地域福祉を構築するという考えの下、「地域共生社会」の実現に向けた取り組みを進めます。

さらに、高齢者の社会参加の促進や健康づくり・介護予防などにつながる「高齢者いきいき活動ポイント事業」の対象者の拡大や、身体的状況により外出が困難な高齢者の外出機会の創出を支援するための新たな交通費助成制度の創設に取り組みます。

平和への思いを 共有するまち

広島のみちづくり
3つの柱
その3

「ヒロシマの心」を世界へ発信

平 和首長会議総会を開催し2020年ビジョンの次のビジョンと行動計画を策定します。また、被爆75周年記念事業として、旧中島地区被爆遺構の展示公開や広島大学旧理学部1号館に関する企画展の開催など、被爆の実相を守り、広め、伝える取り組みを推進します。



前回の平和首長会議総会

然の家の整備、戸山地域と湯来地域における連携施策の推進など、地域の活性化と地域コミュニティの再生に積極的に取り組みます。

【主な施策】

- 旧広島市民球場跡地の活用……………1,495万円
- サッカースタジアム建設の推進……………5億3692万円
- 基町地区の活性化……………6,817万円
- 広島駅南口広場の再整備等……………10億4800万円
- 西広島駅北口地区のみちづくりの推進……………6億5216万円
- 西風新都の都市づくりの推進……………8億705万円
- 東部地区連続立体交差事業……………1億7000万円
- 新交通西風新都線整備の推進……………2億2770万円
- 広島高速道路の整備……………43億2620万円
- 中山間地域における中小企業の人材確保支援事業……………9,990万円
- 似島臨海少年自然の家の整備……………1億500万円
- 戸山地域・湯来地域における連携施策の推進……………680万円

未来を担う子どもたちのために

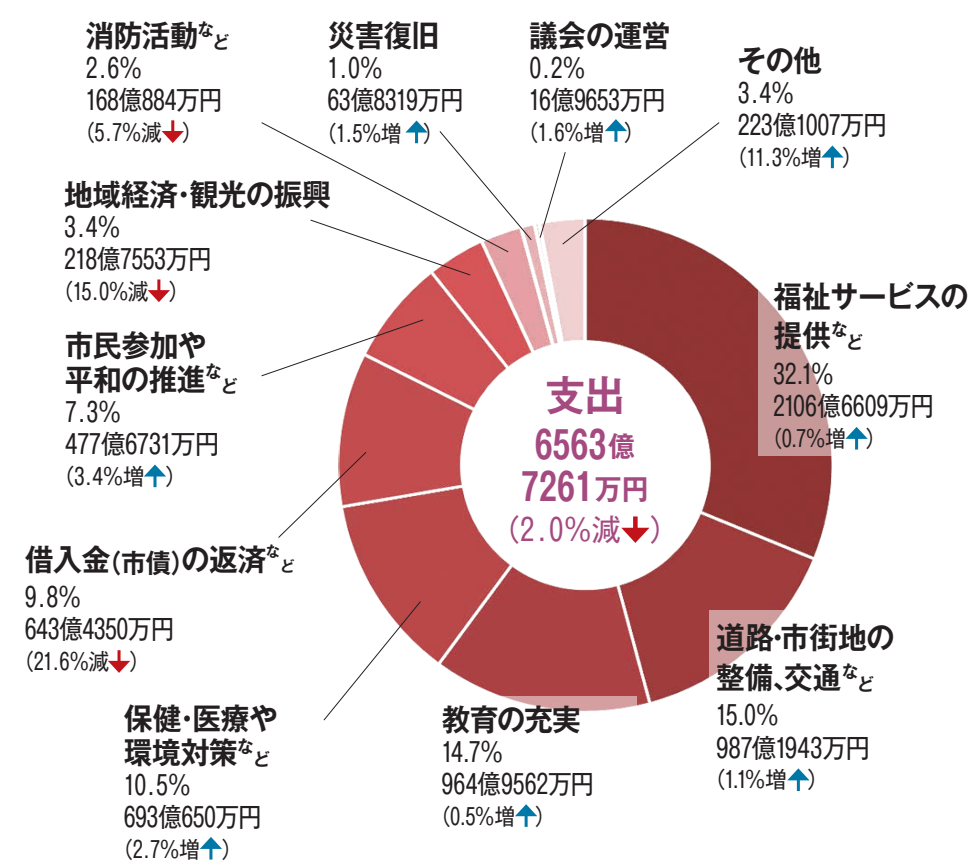
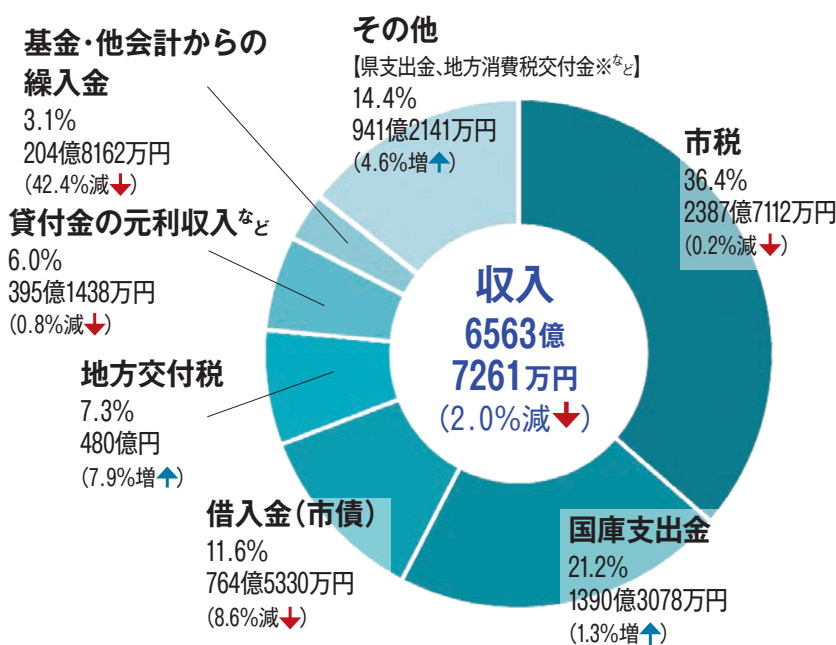
待機児童対策に、引き続き全力で取り組みます。また、学校における働き方改革の推進やいじめ防止対策の充実や英語教育の充実や学習支援体制の強化など個に応じたきめ細かな質の高い教育を推進します。

【主な施策】

- 高齢者いきいき活動ポイント事業……………8億2759万円
- 要支援・要介護高齢者外出支援交通費助成……………8,880万円
- 待機児童対策……………24億980万円
- 学力向上の推進……………1億3106万円
- いじめに関する総合対策……………3億5285万円
- 学校における働き方改革の推進……………1億4556万円
- 地域コミュニティ活性化に向けたビジョンの策定……………475万円
- 企業と地域の連携促進事業……………259万円

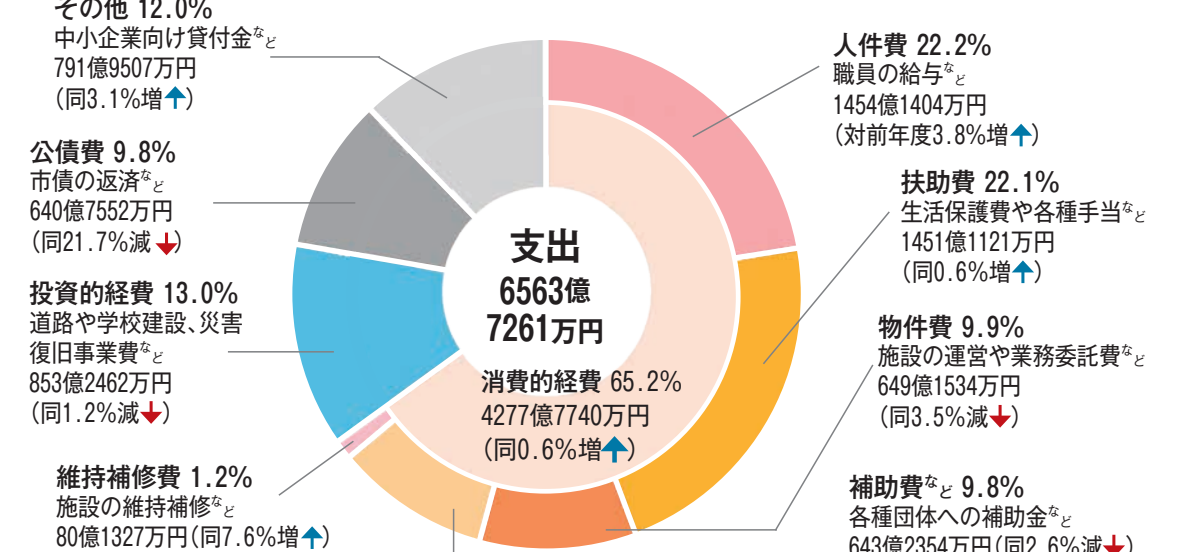
一般会計の内訳

予算額の内訳と構成比。()は対前年度増減率



※これまでの税率の引き上げに伴う地方消費税交付金の増収分(149億5382万円)は、生活保護費などの扶助費や介護保険事業特別会計への繰入金などの社会保障費(一般財源767億699万円)に充当します

性質別に見た広島市の支出



市民一人当たり換算すると

予算約54万9100円
(対前年度1万1200円減↓)

一般会計予算6563億7261万円を市の人口119万5386人(令和2年2月末)で割って計算しました。100円未満は端数処理しています。

- 福祉サービスの提供など 約17万6200円 (対前年度1,400円増↑)
- 教育の充実 約8万700円 (同400円増↑)
- 道路・市街地の整備、交通など 約8万2600円 (同900円増↑)
- 保健・医療や環境対策など 約5万8000円 (同1,600円増↑)
- 借入金(市債)の返済など 約5万3800円 (同1万4800円減↓)
- 市民参加や平和の推進など 約4万円 (同1,400円増↑)
- 地域経済・観光の振興 約1万8300円 (同3,200円減↓)
- 消防活動など 約1万4100円 (同800円減↓)
- 災害復旧 約5,300円 (同増減なし→)
- 議会の運営 約1,400円 (同増減なし→)
- その他 約1万8700円 (同1,900円増↑)

財政運営方針を策定しました

持続可能な財政構造を確立し本市の魅力づくりを進めるため、「財政運営方針」を策定し、次の3つの基本方針に基づき財政運営を行っていきます。

- 【基本方針】
- ①都市としての活力を生み出す財政運営
 - ②まちづくりを支え続けることができる財政運営
 - ③将来のみちづくりを見据えた財政運営
- 【計画期間】令和2年度から令和5年度までの4年間
- 【計画期間内の目標】
- 収支の均衡 高齢化の進展などに伴い社会保障費が増加するなど、今後も厳しい財政状況が続くことが見込まれますが、各年度において歳入確保・歳出削減に努め、計画期間における収支の均衡を図ります。また、財政調整基金について、期間末において現状を上回る残高を確保することにより、計画期間終了後も安定的な財政運営が行えるようにします。
 - 市債残高の抑制 臨時財政対策債※などを除いた市債残高について、5%程度を今後4年間で減少させることを目指します。 ※臨時財政対策債とは、地方交付税の不足を補うために、国が市に発行させる市債です